

バリアフリー対応施設データ形式等の共通化

令和 5 年 10 月
政策統括官付

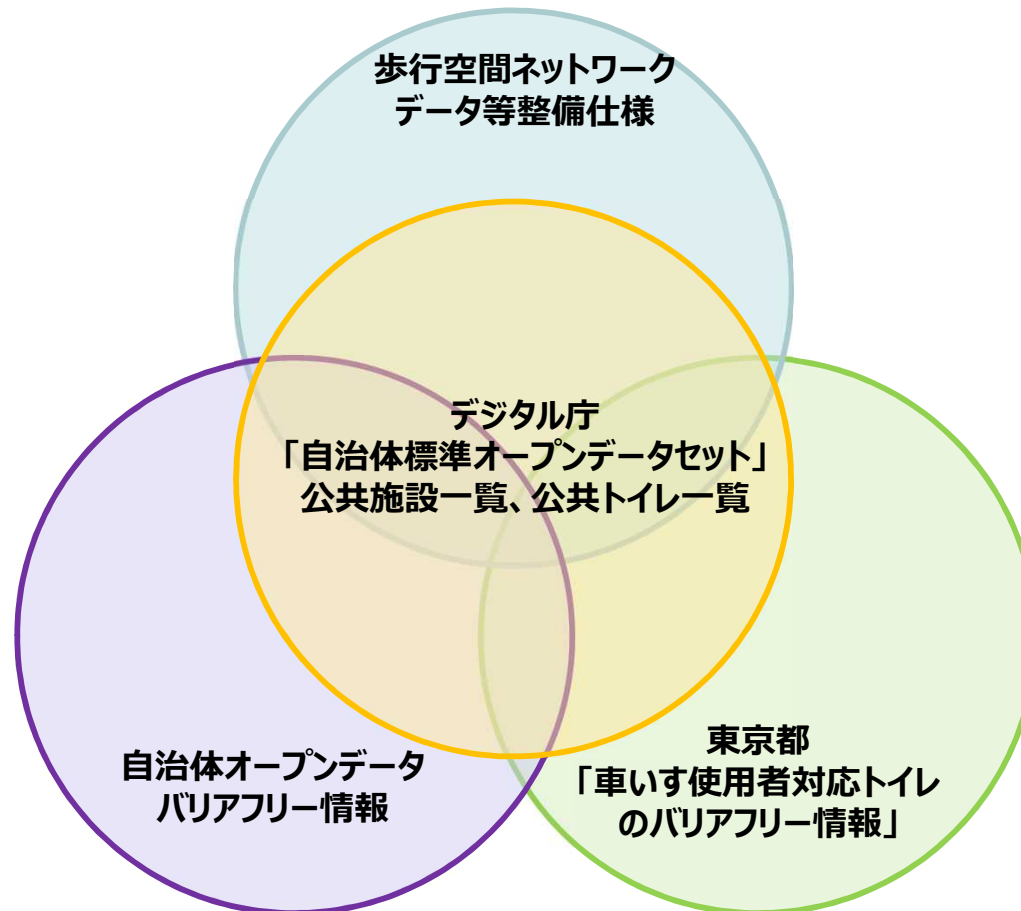
各データの課題に関する当面の対応方針



	課題	仕様・手順書等	ほこナビDP機能	
歩行空間ネットワークデータ	新たなニーズへの対応が必要	「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」の改訂	データWG	
	データの効率的な更新手法が必要	市民等からのデータ提供による更新機能の構築	データWG	
	新技術等を活用した新たなデータ整備手法が必要	歩行空間ネットワークデータ自動生成機能の構築	①針金データ自動生成機能	データWG
			②バリア情報自動生成機能	地図WG
	③①②の統合機能	データWG		
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	①及び②に関するデータ整備手順書作成	データWG		
	ほこナビDP運用手順書の作成	データWG		
3次元地図データ	自動配送ロボット等の走行に必要なデータの整備・更新手法を検討 + バリア情報の自動生成等に活用可能なデータの整備・更新手法を検討※	3次元点群データの要件整理	データWG※	
			・データの精度 ・データの密度 ・位置基準 等	地図WG
		3次元点群データの取得・統合手順書の作成	地図WG	
		3次元点群データ管理・登録/フィルタリング機能の構築	地図WG	
		複数3次元点群データの統合機能の構築	地図WG	
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	ほこナビDP運用手順書の作成	地図WG		
バリアフリー施設データ	バリアフリー施設データ形式等の共通化、 及び整備・管理・オープンデータ化作業の効率化が必要	施設管理者が所管するバリアフリー施設情報が整備・管理しやすいデータ形式等の作成	データWG	
		施設データの整備・管理・オープンデータ化機能の構築	データWG	
	データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	ほこナビDP運用手順書の作成	データWG	

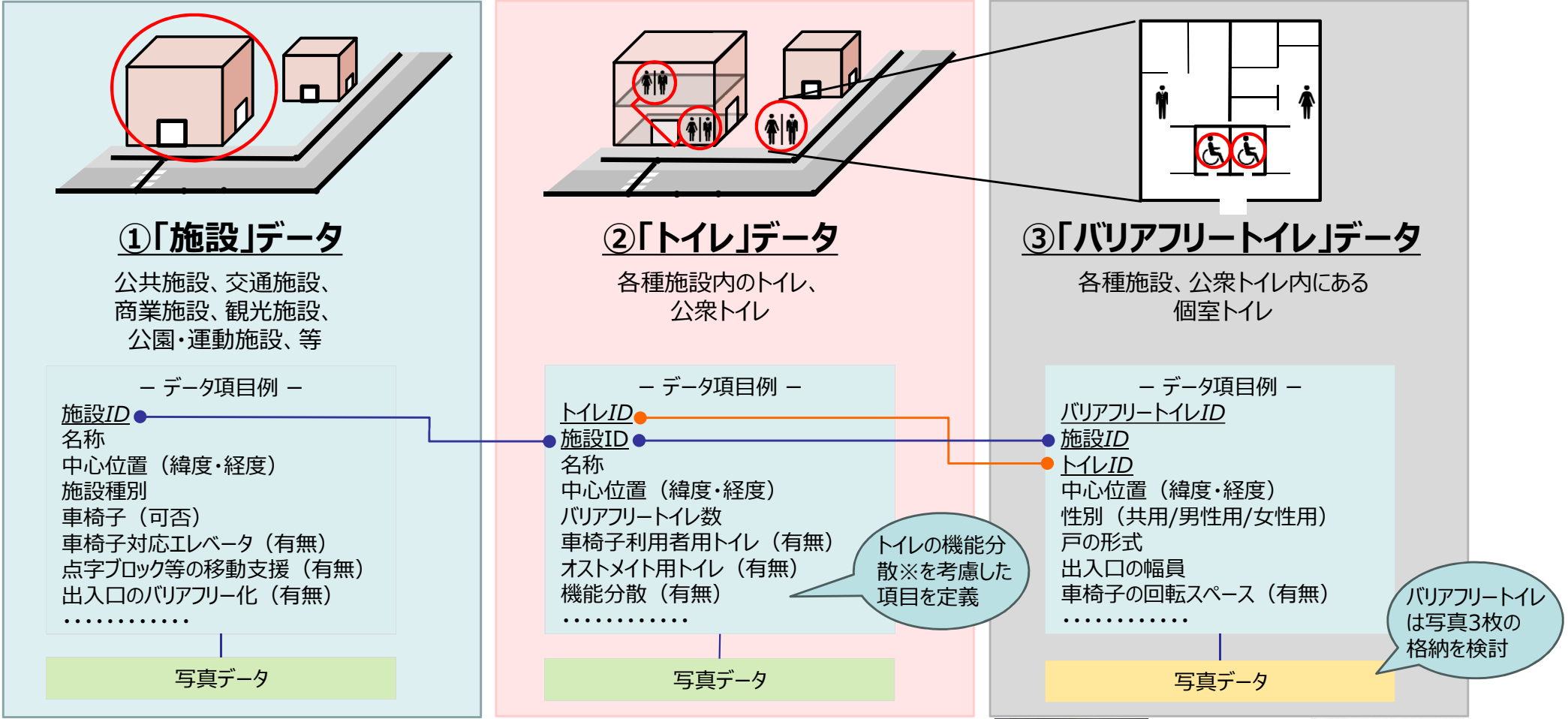
バリアフリー対応施設データの整備項目は、デジタル庁の自治体標準オープンデータセット（正式版：2023年9月4日更新）をベースに、自治体の公共施設のオープンデータや歩行空間ネットワークデータ等整備仕様、東京都「車いす利用者対応トイレのバリアフリー情報」の内容を参考に、バリアフリー情報の充実を図るかたちで検討。

＜バリアフリー対応施設データ整備項目 改定イメージ＞



データ構成と項目について

・バリアフリー対応施設データの階層は、バリアフリートイレに関する情報の充実を図るため、「施設」と施設内の「トイレ」、「バリアフリートイレ」の3種のデータで構成を検討（バリアフリートイレが、どの施設、どのトイレにあるか判別できるようにIDで関連付け）し、それぞれのデータ項目で写真ファイル管理との関連付けを検討。



- *各データは、別途作成する写真ファイルとIDで関連付けを行う。
- *トイレが、どの施設にあるか判別できるようにIDで関連付けを行う。
- *バリアフリートイレが、どの施設、どのトイレにあるか判別できるようにIDで関連付けを行う。
- *トイレの機能分散：バリアフリートイレに集中していた機能を一般トイレに分散配置すること。

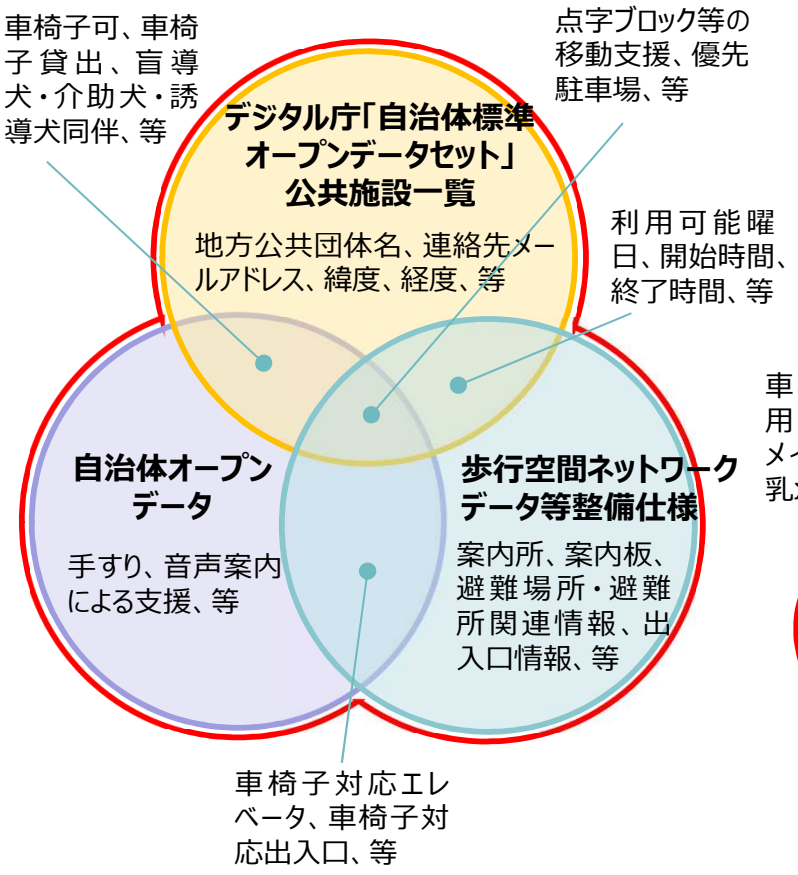


バリアフリー対応施設 データの項目検討

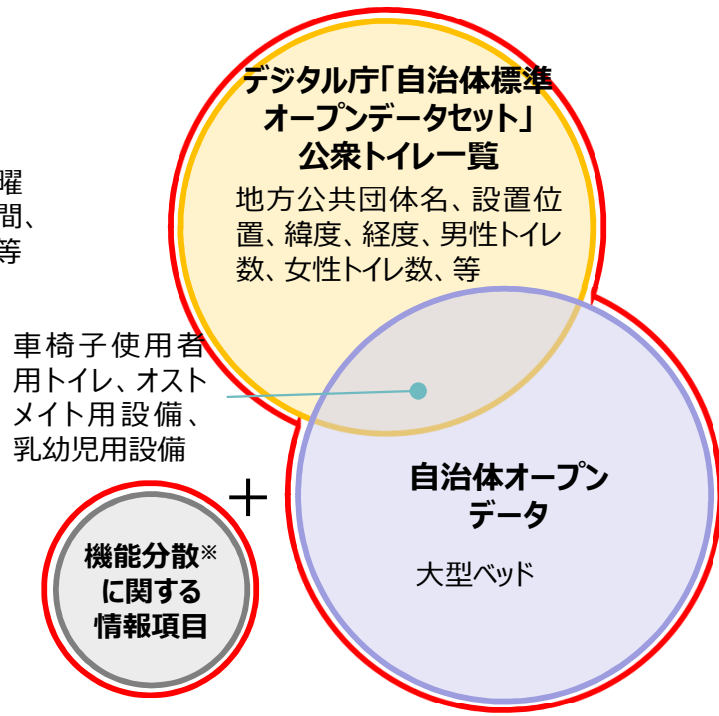


「施設」データは、デジタル庁「自治体標準オープンデータセット（公共施設一覧）」をベースに、トイレ関係を除く各種バリアフリー関連情報を追加。「トイレ」データは、デジタル庁「自治体標準オープンデータセット（公衆トイレ一覧）」をベースに、自治体オープンデータと機能分散に関する情報を加え、「バリアフリートイレ」データは、「トイレ」データより詳細な内容とするため、デジタル庁「自治体標準オープンデータセット（公衆トイレ一覧）」と東京都「車いす使用者対応トイレのバリアフリー情報」等の情報を用いて作成。

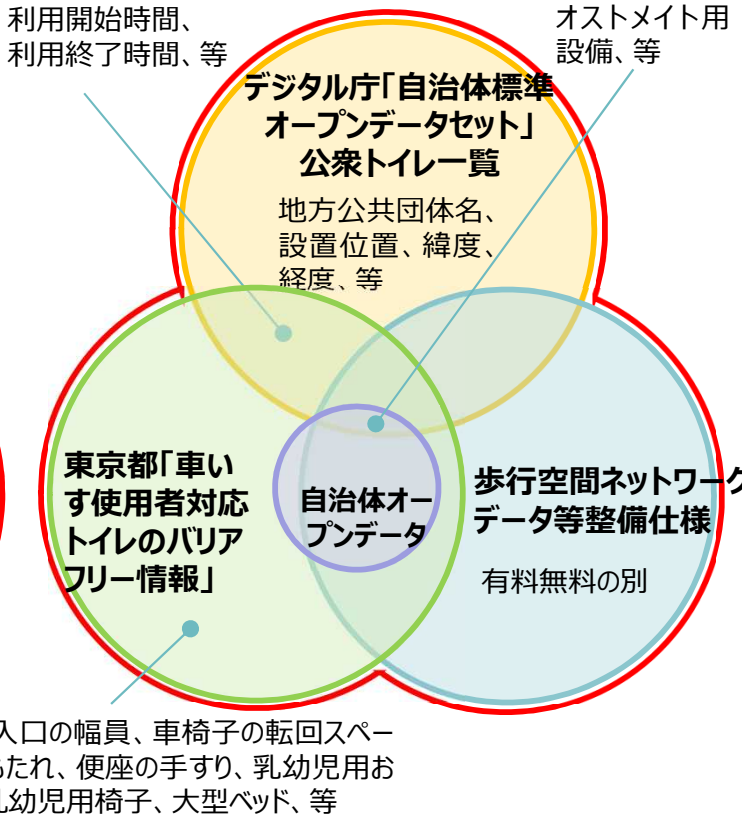
① 「施設」データ



② 「トイレ」データ



③ 「バリアフリートイレ」データ



*トイレの機能分散：バリアフリートイレに集中していた機能を一般トイレに分散配置すること。

*乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子は、「バリアフリートイレ」データに格納。

バリアフリートイレへの利用が集中し、車椅子使用者等が円滑に利用できないことがある。バリアフリートイレへの利用集中を避けるため、バリアフリートイレの各種機能を一般トイレ内へ分散させる取組みが進んでいる。

<トイレの機能分散>

下記のバリアフリートイレにある各機能の一般トイレへの分散配置。

- 車椅子使用者用トイレ
- オストメイト用設備
- 乳幼児用設備（乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子）
- 大型ベッド



車椅子使用者用
+
大型ベッド

(図・写真) 国土交通省「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」をもとに一部改変



乳幼児用設備



オストメイト用設備



車椅子使用者用



バリアフリー対応施設のデータ仕様に定義するバリアフリー情報を選定するため、自治体の公共施設に関するオープンデータに含んでいるバリアフリー情報を確認し、バリアフリー対応施設データに盛り込むバリアフリー情報の候補として整理。

バリアフリー情報選定方法

① バリアフリー基本構想を策定している自治体の確認

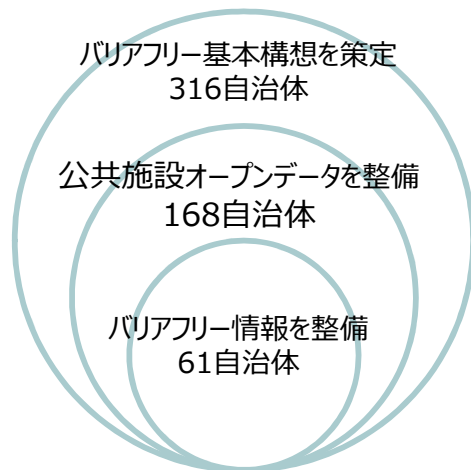
- * 基本構想作成市町村一覧（令和4年度末時点）
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/content/001399667.pdf>

② 公共施設オープンデータを整備している自治体の確認

- Web調査にて、①の自治体の状況を調査

③ オープンデータに含むバリアフリー情報の確認

- 公開している施設データに含まれているバリアフリー情報の整理



バリアフリー基本構想策定の自治体のうち
 公共施設オープンデータでバリアフリー情報を整備している自治体数

自治体オープンデータに含むバリアフリー情報の項目

分類	バリアフリー情報
アクセシビリティ関連	スロープ、手すり、一般エレベータ、一般エスカレータ、車椅子対応エレベータ、点字表示又は音声案内付きエレベータ、車椅子対応出入口、扉の情報
トイレ関連	バリアフリートイレ、オストメイト対応トイレ、車椅子使用者用トイレ、乳幼児用設備設置トイレ、大型ベッド設置トイレ
車椅子関連	車椅子貸出、車椅子可
視覚・聴覚障害者関連	点字による支援、点字ブロック等の移動支援、音声案内による支援、電光掲示板、筆談・手話対応、盲導犬・介助犬・誘導犬同伴
妊産婦・子供連れ関連	授乳室、おむつ替えコーナー、ベビーカーの貸出、ベビーカーの利用
駐車場関連	一般駐車場、優先駐車場

自治体向けヒアリングについて

バリアフリー対応施設データの仕様検討や、ほこナビDPの施設データ整備システム構築における参考情報とするため、自治体における施設データ作成時のバリアフリー情報の選定方法や、データフォーマットの内容、データ整備システムへのニーズ等をヒアリング調査を通じて確認する。

日程

2023年10月下旬～11月

ヒアリング対象自治体

【ヒアリング対象自治体の選定方法】

公共施設のデータを公開している自治体のうち、当該データの中でバリアフリー情報の項目数を多く扱っている自治体を選定。

【ヒアリング対象自治体】

選定方法に基づき、下記の8団体をヒアリング対象の候補として選定。

- ・茨城県取手市
- ・千葉県浦安市
- ・東京都板橋区
- ・東京都府中市
- ・東京都町田市
- ・静岡県静岡市
- ・大阪府大阪市
- ・兵庫県神戸市

ヒアリング確認事項（案）

- ① 既存の施設データに入れているバリアフリー情報の選定の考え方・方法
- ② バリアフリー情報の情報源・収集方法
- ③ 収集情報を用いたデータ化の方法
- ④ データのメンテナンスの方法
- ⑤ 自治体が統一的に使える施設データのフォーマット
- ⑥ ほこナビDPの施設データ整備システムに求める機能
- ⑦ 施設のバリアフリー情報の活用方法・事例
- ⑧ オープンデータの利活用推進のための方策

ヒアリング結果の整理

バリアフリー対応施設データ（施設・トイレ・バリアフリートイレ）の整備仕様、施設データ整備システムに反映

論点整理

■ 施設データのフォーマット等について

- 自治体が統一的に活用できるデータフォーマットを検討する上で留意すべきこと

■ 自治体向けヒアリングについて

- 施設データのフォーマットやデータ整備システムの作成に向け、自治体へのヒアリングにおいて留意すべきこと